



西荻窪駅周辺まちづくり懇談会 テーマ部会(第3回)

令和2年1月26日(日)

10:00~12:00

『付加価値を生むまちづくり』

桃井第三小学校 東校舎2階 多目的室「桃の花」

杉並区 都市整備部 市街地整備課 拠点整備係

● 本日の次第 ●

1. 開 会

(1) 挨拶

(2) 担当者紹介

2. 前回までの整理

3. 懇 談

懇談1：テーマごとの取組み内容の確認

懇談2：部会としての取組み整理

4. とりまとめ内容の確認

5. 次回の予定

6. 閉 会

1. 開 会

杉並区 都市整備部

拠点整備担当課長 清水 泰弘

(2)担当者紹介

【杉並区】

都市整備部 拠点整備担当課長 清水 泰弘
都市整備部 市街地整備課 拠点整備係
樋口 純 (司会)
岡田 夏稀

【受託事業者：ランドブレイン株式会社】

谷口 眞志 (総合進行)
石村 壽浩 (懇談サポート)
山田 浩二 (懇談サポート)
川島 弘明 (懇談サポート)
佐久間 涼 (懇談サポート・記録)

2. 前回までの整理と本日の目的

これまでの検討経緯

【まちづくり懇談会】

- 全員参加の懇談会で、部会での検討、部会のテーマを決定

付加価値を生むまちづくり

暮らしやすいまちづくり

安心・安全なまちづくり



【第1回テーマ部会】

- 各部会での検討テーマを設定し、テーマごとの取組み内容について意見交換



【第2回テーマ部会】

- 第1回テーマ部会で出された意見を踏まえ、テーマごとの取組み内容について意見交換し整理（参考資料－1）

本日の懇談の目的

第2回テーマ部会での班別の検討結果を踏まえ、

部会としてのまちづくり方針を整理！

〔とりまとめイメージ(参考資料-2)〕

付加価値を生むまちづくり部会の整理

まちづくりの目標	取組みの方向性	具体的な取組み内容	取組み内容
付加価値を生むまちづくり	人の集まる場づくり	(1)点(個人)と点をつなぐ仕組みづくり ①誰もが参加できる『話し合いの場づくり』 ②誰もが気軽に使える『活動の場づくり』	地区の活性化に向け、それぞれの活動等を共有、今後の活動等の検討ができるよう、誰もが気軽に参加できる『話し合いの場・活動の場』づくりを進めます。
		(2)駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり ①参加する人が楽しめるイベントづくり ②各個店が事業継承される仕組みづくりが必要 ③(例)協議会の設置	個々の商店において円滑に事業継承されるとともに、関連する人々(外部からのサポーターも含む)を中心とした駅周辺の活力の維持・向上に向けた取組みを進めます。
	イベントづくり	(1)人とのつながりによる体制づくり ①参加しやすいコミュニティづくり ②商店街や町会の絆を超えたつながりづくり ③地区外とのつながりづくり	町会や商店街間、東京女子大学との連携など、人のつながりによる体制づくりを行います。
		(2)情報発信・共有によるつながりづくり ①参加者とのつながりづくり ②支援者とのつながりづくり	インターネットや SNS、クラウドファンディング等を活用したイベントの参加者・支援者への情報発信・情報共有を推進します。
		(3)西荻らしいイベントの実施 ①入りやすいイベント ②小規模なイベント ③音楽×食×酒	イベント企画立案・目的は、他の旗揚げテーマの視点を入れ込み「西荻らしいイベント」にします。
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	(1)個人店が多い地域特性を活かしたまちづくり ①地域の情報発信 ②起業や空店舗の活用 ③空き店舗活用の仕組みづくり	個人店が多い西荻窪の強みを活かし、各店舗における地域の情報やイベントの発信に取り組むとともに、空き店舗バンクなどによる空き店舗活用しやすい仕組みづくりにより、店舗誘致や起業支援、案内・情報発信機能としての空き店舗活用を推進します。
		(2)若者のやる気を引き出すまちづくり ①(例)仕組みづくり ②(例)催事スペースの活用	若者のやる気を西荻窪の魅力につなげるため、若者のやりたいことを吸い上げる仕組みづくりとともに、若者が活動しやすい場の創出のため催事スペース等の活用を推進します。
		(3)特徴ある文化的資源を活かしたまちづくり ①西荻の小洒落た文化を活かす ②子育て・教育環境	西荻の小洒落た文化の P R、子育て・教育環境の充実を図り、成熟した街を形成します。
	情報発信のプラットフォーム	(1)まちの話題、発信したい情報収集 ①人の興味を引き続ける内容 ②魅力的な内容がないと続かない	商店街や幼稚園・保育園・小中学校・高等学校、大学、区役所との定期的な情報交換や情報募集箱等を設置するなど、発信したい情報を集める仕組みをつくります。
		(2)まちなかでの情報発信拠点づくり ①情報発信していることを知ってもらう必要がある	店先空間等を活用して情報発信の拠点(掲示板、まち案内所等)をつくります。
		(3)情報発信の継続的な取組み促進 ①人の確保 ②場所の確保 ③システムづくり	「西荻窪案内所」「西荻窪ノート」「ぶれま」などを実践されてきた方々の経験値を活かした勉強会を開催や情報発信に取り組むスタッフの確保、収入を得る仕組みを検討します。

3. 懇 談

懇談の進め方

懇談 1 : 第 2 回部会のとりのまとめ内容の確認 (2 5 分)

当日の懇談の
進行内容・視点・ポイント

- 前回の振り返りと合わせて、取組みの視点を再整理した。各取組みの視点に対し、『必要なものは何か?』、『どのように行うか?』、『どこでやるか?』の順に検討を進めた。ばらばらにある個人・個店、商店街をつなぐ新たな取組みが必要であることが確認された。また、そのためには、住民や商店街、行政による検討組織を立ち上げること、定期的に話し合いが可能なスペースの確保が必要なることも挙げられた。

参考資料-1

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり
目標

人の集まる場づくり

〔旗揚げしたテーマ〕

取組みの視点(方向性)	取組み内容
(1) 点(個人)と点をつなぐ仕組みづくり	①誰もが参加できる『話し合いの場』づくり <ul style="list-style-type: none"> • 高架下の空き店舗を活用して、月1回でもよいので話し合いやワークショップを行う → 区が公用というかたちで借りることができればなおよい。 • 地元住民、商業関係者、行政による、協議組織を立ち上げる • JRの高架下の空き店舗 → 「西荻みなみ」のような貸しスペース
とりのまとめの文言として適正かを確認、必要に応じて修正	②誰もが気軽に使える『活動の場』づくり <ul style="list-style-type: none"> • 既存の制度活用(空き店舗活用など)により、活動資金を確保 • 知らせ板の活用 → 駅にあるマガジンラックと合わせて • 駅なか
(2) 駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり	①参加する人(住んでいる人、企画する人)が楽しめるイベントづくり <ul style="list-style-type: none"> • 各商店街の取組みが必要 • 外部の人に参加してもらう → 市場で企画は西荻の住民が行い、お店を出す人は地区外の人とするなど • 外からのアイデアを集める → 商店街サポーターなどの制度構築 • 132号整備後の伏見通り → パスルートが変更になるのでは? という想定から • 24の商店街をつなぐルート上でいろいろなイベント等を展開
	②各個店が事業継承されるための仕組み作りが必要 <ul style="list-style-type: none"> • 各商店の取組みが必要
	③『(例)協議会の設置』 <ul style="list-style-type: none"> • 132号線に関して検討を行う協議会組織が立ち上げられようとしている。区として協議会を認めてほしい

取組みのタイトルとして適正か、取組み内容として過不足はないか等を確認、必要に応じて修正

懇談の進め方

懇談 2：部会としてのとりまとめ・整理 (60分)

付加価値を生むまちづくり部会の整理

参考資料-2

まちづくりの目標	取組みの方向性	取組みの具体的なタイトル 取組み内容	参加者の思い (案)
付加価値を生むまちづくり	人の集まる場づくり	<p>(1) 点 (個人) と点をつなぐ仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 誰もが参加できる『話し合いの場づくり』 ② 誰もが気軽に使える『活動の場づくり』 <p>(2) 駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 参加する人が楽しめるイベントづくり ② 各個店が事業承継される仕組みづくりが必要 ③ (例) 協議会の設置 	<p>地区の活性化に向け、それぞれの活動を共有、今後の活動等の検討ができるよう、誰もが気軽に参加できる『話し合いの場・活動の場』づくりを進めます。</p> <p>個々の商店において円滑に事業継承されるとともに、関連する人々 (外部からのサポーターも含む) を中心とした駅周辺の活気の維持・向上に向けた取組みを進めます。</p>
	イベントづくり	<p>(1) 人とのつながりによる体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 参加しやすいコミュニティづくり ② 商店街や町会の絆を超えたつながりづくり ③ 地区外とのつながりづくり <p>(2) 情報発信・共有によるつながりづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 参加者とのつながりづくり ② 支援者とのつながりづくり <p>(3) 西荻らしいイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 入りやすいイベント ② 小規模なイベント ③ 音楽×食×酒 	<p>町会や商店街間、東京女子大学との連携など、人とのつながりによる体制づくりを行います。</p> <p>インターネットや SNS、クラウドファンディング等を活用したイベントの参加者・支援者への情報発信・情報共有を推進します。</p> <p>イベント企画立案・目的は、他の旗揚げテーマの視点を入れ込み「西荻らしいイベント」にします。</p>
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	<p>(1) 個人店が多い地域特性を活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域の情報発信 ② 起業や空店舗の活用 ③ 空店舗活用仕組づくり <p>(2) 若者のやる気を引き出すまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① (例) 仕組みづくり ② (例) 催事スペースの活用 <p>(3) 特徴ある文化的資源を活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 西荻の小洒落た文化を活かす ② 子育て・教育環境 	<p>個人店が多情報やイベントの空店舗活用、案内・情報提供、案内・情報提供、案内・情報提供とを喚起し上げるため催事スペースの活用</p> <p>西荻の小洒落り、成熟した文化</p>
	情報発信のプラットフォーム	<p>(1) まちの話題、発信したい情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人の興味を引き続ける内容 ② 魅力的な内容がないと続かない <p>(2) まちなかでの情報発信拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 情報発信していることを知ってもらう必要がある <p>(3) 情報発信の継続的な取組み促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人の確保 ② 場所の確保 ③ システムづくり 	<p>商店街や幼稚園などの定期的な情報発信を促すための情報発信所 (店先空間等) をつくる</p> <p>「西荻窪案内」の経験値アップの確保、収入を得る仕組みを検討します。</p>

取組みのタイトルを表現する文章として適切かなどを意見交換し整理

似ている取組み内容のとりまとめ方について意見交換し整理

- ・統合するのか
- ・取組みの視点で差別化するのか

など

懇談の進め方

〔とりまとめ内容の確認〕

整理されたとりまとめ内容を全員で確認します。

付加価値を生むまちづくり部会の整理

まちづくりの目標	取組みの方向性	具体的な取組み内容	取組み内容
付加価値を生むまちづくり	人の集まる場づくり	(1)点(個人)と点をつなぐ仕組みづくり ①誰もが参加できる『話し合いの場づくり』 ②誰もが気軽に使える『活動の場づくり』 (2)駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり ①参加する人が楽しめるイベントづくり ②各個店が事業承継される仕組みづくりが必要 ③(例)協議会の設置	地区の活性化に向け、それぞれの活動等を共有、今後の活動等の検討ができるよう、誰もが気軽に参加できる『話し合いの場・活動の場』づくりを進めます。 個々の商店において円滑に事業継承されるとともに、関連する人々(外部からのサポーターも含む)を中心とした駅周辺の活力の維持・向上に向けた取組みを進めます。
	イベントづくり	(1)人とのつながりによる体制づくり ①参加しやすいコミュニティづくり ②商店街や町会の絆を超えたつながりづくり ③地区外とのつながりづくり (2)情報発信・共有によるつながりづくり ①参加者とのつながりづくり ②支援者とのつながりづくり (3)西荻らしいイベントの実施 ①入りやすいイベント ②小規模なイベント ③音楽×食×酒	町会や商店街間、東京女子大学との連携など、人のつながりによる体制づくりを行います。 インターネットや SNS、クラウドファンディング等を活用したイベントの参加者・支援者への情報発信・情報共有を推進します。 イベント企画立案・目的は、他の旗揚げテーマの視点を入れ込み「西荻らしいイベント」にします。
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	(1)個人店が多い地域特性を活かしたまちづくり ①地域の情報発信 ②起業や空店舗の活用 ③空き店舗活用の仕組みづくり (2)若者のやる気を引き出すまちづくり ①(例)仕組みづくり ②(例)催事スペースの活用 (3)特徴ある文化的資源を活かしたまちづくり ①西荻の小洒落た文化を活かす ②子育て・教育環境	個人店が多い西荻窪の強みを活かし、各店舗における地域の情報やイベントの発信に取り組みとともに、空き店舗バンクなどによる空き店舗活用しやすい仕組みづくりにより、店舗誘致や起業支援、案内・情報発信機能としての空き店舗活用を推進します。 若者のやる気を西荻窪の魅力につなげるため、若者のやりたいことを吸い上げる仕組みづくりとともに、若者が活動しやすい場の創出のため催事スペース等の活用を推進します。 西荻の小洒落た文化のPR、子育て・教育環境の充実を図り、成熟した街を形成します。
	情報発信のプラットフォーム	(1)まちの話題、発信したい情報収集 ①人の興味を引き続ける内容 ②魅力的な内容がないと続かない (2)まちなかでの情報発信拠点づくり ①情報発信していることを知ってもらう必要がある (3)情報発信の継続的な取組み促進 ①人の確保 ②場所の確保 ③システムづくり	商店街や幼稚園・保育園・小中学校・高等学校、大学、区役所との定期的な情報交換や情報募集箱等を設置するなど、発信したい情報を集める仕組みをつくります。 店先空間等を活用して情報発信の拠点(掲示板、まち案内所等)をつくります。 「西荻窪案内所」「西荻窪ノート」「ぶれま」などを実践されてきた方々の経験値を活かした勉強会を開催や情報発信に取り組みスタッフの確保、収入を得る仕組みを検討します。

4. とりまとめ内容の確認

5. 次回の予定

6. 閉 会